

平成 31 年度 事業計画書

1. 奨学金の支給

(1) 継続奨学生及び新規採用奨学生

支給対象者			人数	一人当たりの 月額支給奨学金	年間支給総額
継続奨学生	大学院	修士 2 年	12 名	60,000 円	8,640,000 円
	大学	学部 4 年	7 名	30,000 円	2,520,000 円
		学部 3 年	6 名	30,000 円	2,160,000 円
	高等専門学校	本科 5 年	7 名	20,000 円	1,680,000 円
		本科 4 年	6 名	20,000 円	1,440,000 円
新規採用奨学生※	大学院	修士 1 年	14 名	60,000 円	6,720,000 円
	大学	学部 2 年	7 名	30,000 円	1,680,000 円
	高等専門学校	本科 3 年	7 名	20,000 円	1,440,000 円
計			66 名		25,960,000 円

※ 1. 新規採用奨学生は 8 月度分より支給開始。

※ 2. 新規募集者の専攻分野・学科は以下のとおりとする。

① 大学院生・大学生

化学、応用化学、化学工学などの化学系、および、機械、電気電子工学系を専攻

② 高等専門学校生

すべての学科

※ 3. 応募資格として、以下の二つの条件を付するものとする。

① 生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入は除く)が 500 万円以下

② 成績証明書記載の学業成績に占める、A・優以上の最優等成績の割合が 50% 以上

(2) 新規採用奨学生募集校

① 大学院及び大学は以下の 46 校とする。

青山学院大学、大阪大学、大阪市立大学、大阪府立大学、お茶の水女子大学、神奈川大学、金沢大学、関西大学、関西学院大学、九州工業大学、九州大学、京都工芸繊維大学、京都大学、近畿大学、熊本大学、群馬大学、慶應義塾大学、高知大学、神戸大学、国際基督教大学、埼玉大学、首都大学東京、上智大学、信州大学、千葉大学、中央大学、筑波大学、東京工業大学、東京大学、東京農工大学、東京理科大学、東北大学、同志社大学、名古屋工業大学、名古屋大学、奈良女子大学、日本女子大、広島大学、法政大学、北海道大学、明治大学、山形大学、横浜国立大学、立教大学、立命館大学、早稲田大学

②高等専門学校は以下の41校とする。

秋田工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、有明工業高等専門学校、石川工業高等専門学校、一関工業高等専門学校、茨城工業高等専門学校、宇部工業高等専門学校、大阪府立工業高等専門学校、大島商船高等専門学校、沖縄工業高等専門学校、小山工業高等専門学校、鹿児島工業高等専門学校、金沢工業高等専門学校、木更津工業高等専門学校、北九州工業高等専門学校、熊本工業高等専門学校、久留米工業高等専門学校、呉工業高等専門学校、群馬工業高等専門学校、高知工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校、佐世保工業高等専門学校、サレジオ工業高等専門学校、鈴鹿工業高等専門学校、仙台高等専門学校、津山工業高等専門学校、鶴岡工業高等専門学校、東京工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、富山高等専門学校、長岡工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校、新居浜工業高等専門学校、沼津工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、八戸工業高等専門学校、福井工業高等専門学校、福島工業高等専門学校、都城工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校

2. 奨学生証授与式、奨学生交流会及び講演会

新規採用奨学生を対象に、奨学生証授与式及び奨学生交流会を実施する。

新規採用奨学生には、学会出席を含む研究活動、学校行事などの事由がない限り、奨学生証授与式及び奨学生交流会への出席を求めるものとする。

また、新規採用奨学生を激励して頂くことなどを目的に、継続奨学生38名及びOB・OG奨学生(平成21年度以降に採用した当会の元奨学生)を奨学生交流会に招聘する。

現奨学生(新規採用奨学生及び継続奨学生)の奨学生証授与式及び奨学生交流会出席に要する往復交通費(居所又は帰省先から会場)は全額支給する。

なお、元奨学生に対しては交通費を支給しない。

更に、昨年に引き続き、奨学生向けの講演会を併せて実施する。

実施日	予算額	予算の内容
8月24日(土)	2,300,000円	現奨学生の往復交通費、傷害保険料、交流会飲食費等

以上